

学校の在り方の検討をどう進めるか

町長 地域や保護者との対話を進める



録画を配信



ささはらとしかず
笹原俊一 議員

田宮新町長に、初の定例会となる6月議会で、町の諸課題について質問した。

学校の在り方

問 人口減少が進み、少子化が続いている。複式学級という現実が迫る中、どのように議論を進めていくのか。

町長 蚕桑小で令和10年度、東根小で12年度に複式学級の編制が想定される。地域や保護者との対話を大事にしながら検討を進める。

教育長 令和14年度までに、小学生159人、中学生93人の減少が予想される。まずは町長と教育委員で組織される総合教育会議で取り上げ、さらに保護者や地域の皆様、学校関係

者で慎重かつ継続的に協議していきたい。

6次産業化拠点施設

問 建設を進めるに当たり、設計段階から町民へ情報を公開し、敷地内イベントなど民間のピーアール手法も取り入れて、「完成したら使ってみたい」と思える施設づくりを検討してはどうか。

町長 イベントなどを行い、行ってみたいと思える場にしていきたい。また、拠点施設の魅力やできることを知っていただくことは重要で、完成後は実演や

体験の機会を設け、利用促進につなげていきたい。

ふるさと森林公園

問 巨額の費用をかけて改修することに町民から懸念の声がある。町長は「できるのはどこまでかを検証する」と表明したがどう進めるのか。

町長 森林公園再整備は事業費が想定を超える見込みのため、町民や議会の意見を聴きながら事業内容を改めて検証したい。



建設を待つ6次産業化拠点施設

問 その検討の中には事業規模の見直しや段階的な整備、計画全体の再構築といった選択肢も含まれるのか。

町長 事業全体を白紙に戻すのではなく、積み重ねた基本構想や設計を有効に使いながら、現状の社会情勢や財政状況に合った最適な整備を検討する。老朽化も進んでいるため、できるだけ早い段階で方向性を整理したい。

有害鳥獣対策

問 鳥獣被害が年々増加している。捕獲数に対し処分は追い付いているのか。また、課題は何か。

町長 自家消費を除く全頭を埋設処分している。捕獲頭数に対して処分が追い付かない状況ではないが、実施隊員の高齢化、埋設場所の確保が課題である。

問 処理施設を町単独で整備する方針は変わらないか。また、現在の選定状況はどうか。

町長 白鷹町単独で整備する。処理施設の新たな候補地を選んだので、所有者と地域の理解を得たうえで整備していきたい。施設供用開始までは建設期間を含め、整備地の決定から3年程度が必要と考えている。

私もひとこと

新町長には、町の課題に向き合い、町民の声をしっかり聴きながら頑張ってもらいたい。
(60代女性)